



石川県警察速度管理指針

この指針は、速度抑制による交通事故の抑止と被害軽減を図るため、速度規制、速度取締り、交通安全教育等の総合的な対策を推進するに当たり、県内における過去10年間（平成22年～令和元年）の交通事故実態を基に、石川県警察の基本的な考え方とその方向性を示したものです。

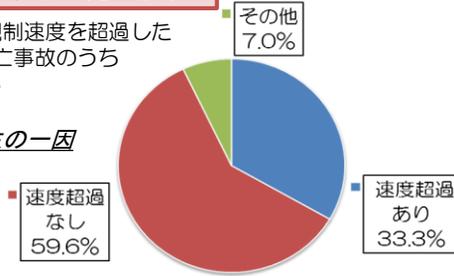
速度管理の必要性

速度の遵守

交通事故抑止と被害軽減

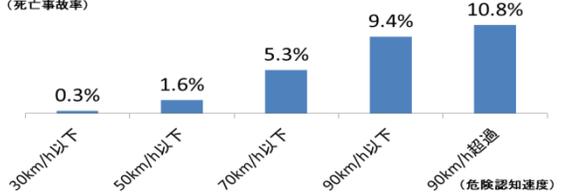
◇交通死亡事故の発生状況

第1当事者が規制速度を超過した死亡事故は全死亡事故のうち33.3%を占める
→速度超過は死亡事故発生の一因



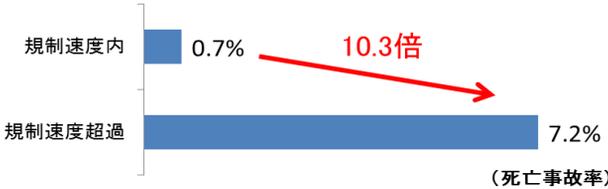
◇走行速度と交通事故等の関係

危険認知速度が高いほど、死亡事故率は高くなる
※ 危険認知速度＝事故直前の速度（死亡事故率）



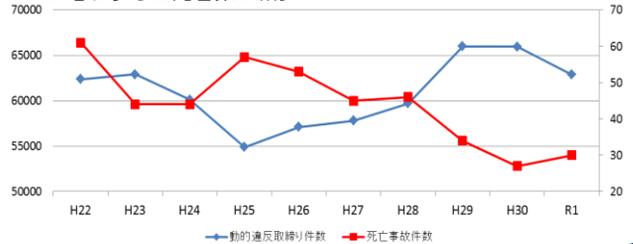
◇規制速度の遵守による被害の軽減

規制速度を超過した事故は、規制速度内の事故より死亡事故率が10倍以上高くなる
→速度超過は死亡事故につながりやすい



◇交通指導取締り等の交通事故抑止効果

取締りが減少すると交通事故死者数が増加し、取締りが増加すると死者数が減少



速度管理の内容

◇幹線道路

特徴

- 車両相互の事故、特に追突が多い
- 死亡事故では車両相互の事故で、正面衝突、出会い頭が多い
- 規制速度の超過割合は約35.3%

目標

- 速度違反取締りを中心とした事故抑止
- 事故実態等を踏まえた規制の見直し
- 赤ランプ警戒による速度抑制

◇生活道路

特徴

- 車両相互の事故、出会い頭と追突が多い
- 死亡事故では人対車両の事故で、道路横断中の歩行者との事故が最多
- 規制速度の超過割合は約37.9%

目標

- 歩行者等の安全な通行の確保
- 事故実態に応じた速度違反、交差点関連違反、横断歩行者等妨害等違反の取締り
- 抜け道対策等の通過交通の流入規制や面的な交通規制（「ゾーン30」整備など）

◇高速道路等

特徴

- 車両相互の事故、中でも追突が約6割を占める
- 死亡事故では単独事故が多く、約半数を占める
- 規制速度の超過割合は約半数の48.0%

目標

- 円滑な道路交通を確保した速度抑制による交通事故防止及び被害の軽減
- 区間全体として斉一性のとれた規制速度の設定
- 自動速度取締装置等による速度違反、シートベルト着用義務違反の取締り

【対象路線】北陸自動車道、のと里山海道、能越自動車道

◇その他の道路

特徴

- 車両相互の事故、出会い頭が多い
- 死亡事故では人対車両の事故が多い
- 規制速度の超過割合は約16.4%

目標

- 事故発生実態に応じた指導取締り
- 交通事故の情報を発信することにより運転者の自発的な速度抑制を促進

【路線・地域の例示】

- 国道8号
- 国道157号
- 国道249号
- 国道305号
- 金沢外環状道路
- ・国道159号
- ・主要地方道金沢小松線
- ・主要地方道松任宇ノ気線 など

【路線・地域の例示】

- JR金沢駅周辺地区
- 金沢市片町地区
- 津幡町役場周辺地区
- かほく市宇ノ気地区
- JR小松駅周辺地区
- 加賀市山代温泉地区
- JR七尾駅周辺地区 など

例示した路線・地域以外でも、交通情勢等に応じて、ランダムな取締りや街頭活動を実施します！

